

第34回 ひな祭り展

この地域に飾られるひな人形は、時代ごとに姿を変えてきました。明治時代から大正時代にかけては、素朴な土人形から男びな、女びな一対の衣裳飾りの親王飾りひな人形に移り代わります。さらに、大正末ごろには、御殿飾りのひな人形が親しまれるようになりまます。そして、日本が豊かになっていった昭和30年代後半から豪華な段飾りが一般的になっていきました。第34回となる本展では、時代とともに変化していくひな人形の様子から当時の人々の暮らしや風俗に思いを馳せることのできる展示となっています。

また、今年も市内の方々が制作した「つるし飾り」などや県立福江高等学校手芸食物部の生徒制作の「押し絵ひな」、田原風保存会の「初凧」も展示します。

参加者募集!!【要予約】

着物を着て
おひなさま気分になろう

3月1日(日) 午前9時30分～午後4時
渥美郷土資料館

対象 ● 3歳～小学6年生
定員 ● 30名(予定)
参加料 ● 500円
申込み ● 2月9日(日)までに、田原市博物館(☎0531-22-1720)にお申し込みください。
申し込み多数の場合は抽選。

展示会場で
かわいい着物を着て、
おひなさま気分を
体験しよう!



土人形(内裏雛)

2月1日(日)→3月15日(日)

場所 ● 田原市渥美郷土資料館
開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 ● 月曜日(月曜日が休日の場合は、その翌日)
観覧料 ● 無料

県内の博物館・資料館などをめぐる
ひなまつりスタンプラリー 景品有(先着順)

【実施期間】2月1日(土)～3月8日(日)
【参加館】渥美郷土資料館、田原市博物館、豊橋市二川宿本陣資料館、商家「駒屋」(豊橋市)、蒲郡市博物館、幸田町郷土資料館など、全35館

福江*つるし飾りロード 観覧無料

期間中、まちなか博物館におひなさまが展示される他、福江地区のまちなかにつるし飾りなどが展示されます。
(制作:福江保育園児、福江・清田小学校児童、福江中学校生徒他)
【展示期間】2月19日(水)～3月18日(水)

田原市渥美郷土資料館

☎33-1127



御殿飾り 昭和30年代



押し絵ひな
神功皇后



立ちびな 寛政年間(1789～1801) 寄託資料

田原市博物館 企画展

ひな人形と初凧展

—女の子の節句・男の子の節句—

2月8日(日)→3月22日(日)

場所 ● 田原市博物館企画展示室1
開館時間 ● 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 ● 月曜日(月曜日が休日の場合は、その翌日)
観覧料 ● 一般310円(240円)、小中学生以下無料
※()は20名以上の団体料金。毎土曜日は高校生も無料
主催 ● 田原市博物館、田原風保存会

同時開催
華椿系画家の
肖像画
特別展示室

田原市博物館 ☎22-1720 <http://www.taharamuseum.gr.jp>



御殿飾り 昭和3(1928)年



初凧(武田信玄)

田原まちなか
雛祭りめぐり
観覧無料

【展示期間】
2月1日(土)～3月8日(日)